

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公開番号】特開 2020-78342 (P2020-78342A)
 【公開日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-021
 【出願番号】特願 2020-32178 (P2020-32178)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 5/0735 (2010.01)

【F I】

C 1 2 N 5/0735 Z N A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 18 日 (2020.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

S O X 1 7 及び H N F 3 b を発現するヒト胚体内胚葉細胞をインビトロで生成する方法であって、(a) ヒト多能性細胞幹細胞の集団を培養し、(b) 前記ヒト多能性幹細胞が、S O X 1 7 及び H N F 3 b を発現するヒト内胚葉細胞に分化するのに十分な時間、2 % (v / v) 以下の血清及び少なくとも 3 0 n g / m l のアクチビン A を含む培地で前記集団を培養することによりヒト多能性幹細胞の集団を分化させ、S O X 1 7 及び H N F 3 b を発現するヒト胚体内胚葉細胞を生成させることを含み、前記ヒト胚体内胚葉細胞を含む細胞集団は、ヒト中内胚葉細胞をさらに含む、方法。

【請求項 2】

培地が、(a) ヒト多能性幹細胞の胚体内胚葉細胞への分化を促進するのに十分な量の B M P 4、又は(b) ヒト多能性幹細胞の胚体内胚葉細胞への分化を促進するのに十分な量のアクチビン B をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記培地中のアクチビン A の濃度が、約 3 0 n g / m l ~ 5 0 0 n g / m l である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記培地中のアクチビン B の濃度が、約 1 0 n g / m l ~ 5 0 0 n g / m l である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記培地中の B M P 4 の濃度が、約 1 0 n g / m l ~ 5 0 0 n g / m l である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記培地が、ヒト多能性幹細胞の胚体内胚葉細胞への分化を促進するのに十分な量の W n t ファミリーメンバーをさらに含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記 W n t ファミリーメンバーが W n t 3 A である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記のヒト多能性細胞幹細胞の集団が、外胚葉系列由来の細胞を実質的に含まない、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。